



発行：救いの光教団
編集：神成編集室
東京都世田谷区北沢
(☎155-0031) 2-22-10
電話 代表03(3413)0123
http://sukui.jp
毎月1回1日発行
購読料 1部80円
(会員の購読料は会費に含む)

2025
No.633
5月号

神の御心

垂乳根の子を憶う如億兆を

愛まう神の御心畏し

曲神は如何に障るも怖れまじ

我には神の守りありせば

大神の仕組の奥のその奥の

又その奥の奥ぞ尊き



御光筆
観音力

『おひかり』の第一号

昭和十年(一九三五年)の五月五日を期して、浄霊は明主様が紙片に御揮毫されたお文字を介して行われるようになりまし。それまではお守りとして『光』『光明』などがありましたが、直接、掌(てのひら)をかざす浄霊は明主様のみがされ、ごく一部の弟子だけが「御手代(みてしろ)」とよばれる扇子を相手の患部に当てて病を癒す方法を取っておりまし。が、御神業の進展にともない、信徒は講習を受けて、この『観音力』を拝受し、多くの人に御神力をお取次ぎしました。この御光筆の『おひかり』は信徒が実際に救いの光のお取次ぎをするために首にかけていたもので、人に浄霊を取り次ぐことのできる『おひかり』の第一号といえます。

教団方針

信徒よ速やかに目覚めよ、
それは光を受け、邪を捨て、光を授け、
正に生きる事である

方針のみちしるべ

- (一) みつめなおそう明主様の心
- (二) つらぬきとおそう明主様の心
- (三) 教団綱領を尊び実践する
- (四) 信仰継承は家族と家庭円満から

神言霊

〈お伺い〉

子供の不良性は治りますでしょうか。

【神言霊】

治りますよ。子供が不良だつていうのは、やっぱり親に罪があるんです。子供が不良だといろいろと心配するでしょ。その苦痛が浄化作用なんです。すべて苦痛というものは罪穢れの浄化なんです。ところが、徳を積むとそれによって苦痛を受けるべき条件が減ってくるんです。だから親が信仰を深くして、一生懸命に人を助けて徳を積めば、それによって子供の不良もよくなるんです。

また、もう一つ別の方面から見ると、前頭部に熱があるんです。反対に後頭部は感情ですがね。前頭部が冷たければ、理性が十分に活動してやたらな感情の衝動を抑えますからね。浄霊して前頭部が冷たくなれば不良も治りますよ。

私は戦争や闘争の元は不快感が原因だつて言うんです。人間は爽快な気持ちになると争えなくなるもんです。怒るつてのは感情であり、これを抑えるのが理性の力なんです。欲望つまり仏語でいう煩惱です。この煩惱が起きる場合もそうです。欲望も神様が与えてくださったんだから想念は自由ですが、その想念をそのまま行動にあらわすと罪になることが多いので、そのとき行動に移そうとする感情を、前頭部の冷たい人は抑えることができるんです。

〈お伺い〉

想念の問題ですが、おひかりを頂けば、皆一様に効果が同じだという考えを持っている信者が多いのですが。

【神言霊】

ところが想念の問題はこうだと思つと窮屈になるんです。だからそれは自分みずからわく気持ちでよいのです。だからその人がたいして思つてない、あるいはありがたくてありがたくてしようがないという、それでよいのです。感謝です。

〈お伺い〉

おひかりを頂く事によって想念が浄められてゆくという事は。

【神言霊】

おひかりを頂けば想念が浄まることも事実であり、また想念のいかんによつてますますお陰をこうむることも事実で、一方的には決められないものです。

教団綱領の学び



正神を敬い 祖先を尊び 恵みの光に浴くして 感謝報恩の生活を送ります (全五回)

【第三回】祖先を尊ぶ(その二)

六、祖霊祀りについて

(一) その日を限りとして霊界へ復帰なさる

『人の死するや、仏教においては四十九日、神道においては五十日祭をもって一時打ち切りにするが、それはその日を限りとして霊界へ復帰するのである。それまで霊は、仏教にては白木の位牌、神道にては麻で造った人形の形をした神籬というものに憑依しているのである。』

(二) 死者の霊に対する心がまえ

遺族の執念が死霊に対し引きとめる
『ここで注意すべきは、死者に対し悲しみのあまりなかなか忘れ得ないのが一般の人情であるが、これは考えものである。なぜならば、よくいう「往く所へ往けない」とか「浮かばれない」とかいうのは、遺族の執念が死霊に対し引き止めるからである。ゆえに、まず百カ曰くらい過ぎた後はなるべく忘れるよう

に努むべきで、写真なども百カ曰くらいまで安置し、その後いったん撤去した方がよく、悲しみや執着を忘れるようになった頃また掛ければよいのである。』

(三) 霊的孝養を尽くすことこそ大きな孝行

『昔から「孝行をしたい時には親はなし」という諺があるが、そんなことは決してない。むしろ死後の霊的孝養を尽くすことこそ大きな孝行となるのである。』

(四) 墓参、法事なども祖霊は喜ばれる

『墓参、法事なども祖霊は喜ぶる喜ばれるから、遺族または知人などでもできるだけ供養をなすべ

きで、これによって霊は向上し、地獄から脱出する時期が促進されるのである。』

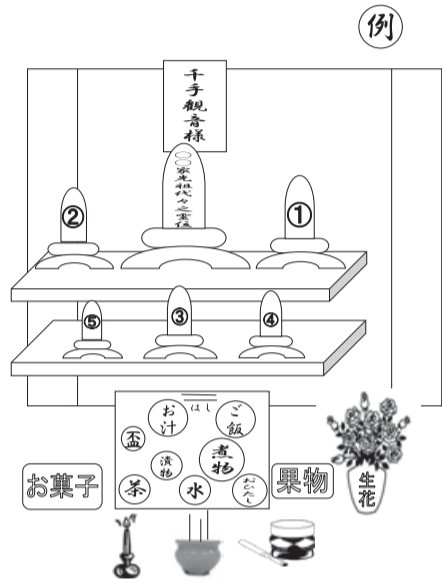
(五) 子孫は供養を怠ってはならない

『祖霊は、霊自身の苦行、または子孫の供養によって、漸次向上するのであるから子孫たるもの、供養を怠ってはならないのである。』

(六) 形式だけのものは喜ばれない

『人間が心から行なう祭典は霊は非常に喜ばれるが、形式だけのものは余り喜ばれない。故に祭典の場合は身分に応じ、出来るだけ誠をこめ、立派に執行すべきである。』

仏壇のあり方



※位牌の順序と御膳の向きにつきましては「祖霊供養セミナー」テキストもご参照ください。

七、永代慰霊

(一) 霊的孝養

『昔から、「孝行をしたいときには親はなし」という諺があるが、そんなことは決してない。むしろ、死後の霊的孝養をつくることこそ、大きな孝行となるのである。』

(二) 霊の浄化

『霊の罪穢に対し、その遺族が誠心誠意懇るなる法要を営むとか、人を助け慈悲を施し、善徳を積むことによって、それだけ霊の浄化は促進され、向上されるのである。』

(三) 永代慰霊について

『生前、夫、妻に相互に貞節を捧げるなどは、現世は勿論、むしろ死後における方がより大きな意味となるので、慰霊祭などは、霊は非常に喜ぶのである。』

(四) 永代慰霊祭について

『生前、夫、妻に相互に貞節を捧げるなどは、現世は勿論、むしろ死後における方がより大きな意味となるので、慰霊祭などは、霊は非常に喜ぶのである。』

て、向上してゆくものである」と教えておられます。

人間は、神様の命令でこの現世に生まれ、また、神様の御心で死を迎え、元津御座である霊界へまいります。そうして霊界での御用に励まれ、神様の御光を頂いて向上されるのです。しかし、御霊様御自分だけの御用では、なかなか神様の御光を十分に頂くことはできません。

子孫である私たちが現界で、神様の御用をすすめ、祖霊供養をつくし、社会に善徳を施すことで、御霊様は御光をいっぱい頂かれ、向上され、喜びのうちに御用を果たされ、そして、子孫を御守護下さるのです。

私たちは「正神を敬い、祖先を尊ぶ」という、教団綱領を信仰実践の要として、春秋二回の大祭をはじめ、七、八月のお盆月、月ごとの慰霊祭、また、家庭における毎月の家庭慰霊祭や、朝夕の供養と、祖霊様方に、それぞれ慰霊の誠をつくし、御供養を仕えております。

これらの慰霊の御供養は、永遠に続けることが本当であり、人としての第一義であり、大切な願いでございます。

従いまして、教団においては祖霊様の永久的供養の万全を期させて頂くべく、「永代慰霊」を行っております。

この永代慰霊祭は、永遠に祖霊様が浄光に浴し、明主様のみもとにおいて、霊界で向上され、平安の日々を過ごされますよう、教団が責任を

もって、お仕えさせて頂いております。

「御守護は供養の積み重ね」と申しますように、永代慰霊の追善供養も大変大切なことでございます。

私達が神様から何度も御光を頂きたいと思うように、御先祖様方も霊界で御光を求め、御光を頂きたいと強く願っております。

一切は光で救われるのでございませぬから、誠心をもって御供養をさせて頂き、御霊様の霊界でのご向上に尽してまいりたいと存じます。

(五) 変死の霊の供養

『変死について知りおくべきことがある。それは他殺自殺などすべて変死者の霊は地縛の霊と称し、その死所から暫くの間離脱することができないのである。普通数間または数十間以内の圏内にいるが、淋しき余り友を呼びたがる。』

世間よく鉄道線路などで轢死者がきた場所、河川に投身者のあったその岸辺、縊死者のあった木の枝などよく後を引くが、右の理によるのである。地縛の霊は普通三十年間その場所から離れられないことになっているが、遺族の供養次第によっては、大いに短縮することができ、特

に、変死者の霊には、特に懇ろなる供養を施すべきである。』

から、変死者の霊には、特に懇ろなる供養を施すべきである。』

から、変死者の霊には、特に懇ろなる供養を施すべきである。』

春季大祭・春のみたままつり、三月感謝祭執り行われる

令和七年三月二十日、春彼岸の御中日にあたる春分の日、春季大祭・春のみたままつり併せて三月感謝祭が東京本部からの中継配信により各布教拠点とも一斉に執り行われた。この日は、大光明・明主様への感謝と祈りの祭典とお彼岸にあわせての祖霊様の懇ろなる御供養の祭典が滞りなく執り行われた。



辻井悦子参拝者代表による献花



祭典では大光明・明主様への感謝と祈りが捧げられた



輝靈光納斎殿の参拝



春彼岸の祖霊供養の祭典では祖霊慰慶神歌が捧げられた



清水知明信徒総代と本間祥子参拝者代表による玉串奉奠



水子様の御膳



祖霊様、水子様には手作り料理を中心とした御膳がお供えされた

会長挨拶【要旨】

今日の春の御祭典は二つの祭典から成り立っています。一つは、大光明・明主様への感謝と祈りの御祭典(みまつり)であり、もう一つは、お彼岸にあわせての祖霊様のご供養の祭典であります。

えする事が出来ました事、加えてみろく大黒天神様へも感謝の御心をお捧げ出来ました事は非常に喜ばしい事ではないかと思えます。

げること、祀られている神様と祀る人との霊性を仲立ちするという役割を果たしています。そのように考えますと、玉串料も大光明様、みろく大黒天神様と自身をつなぐものとなるのではないのでしょうか。従いましてお包みする際には、今のような事を思い浮かべながらお包みしてお捧げすることで、神様にその心が通じて、さらなる御守護が頂けるのではないのでしょうか。

明主様は『彼岸の時は太陽が冬至と夏至の真ん中を回る時で、ちょうどいい時なんです。このちよいどいいということが、天国、極楽になるのです。つまり理想世界のことですね。』『ちよいどいい時に先祖を祀るといわけです。これは理屈なしにいいことなんです。』と仰っております。今日は春分の日、ちよいどお彼岸の御日にあたり、その日に祭典をお迎

幽世大神様であり、その御神格から霊界をつかさどるお役目がございます。

また、幽世大神様に対しては祖霊様を御守護されておりますことから玉串料というよりも、その分、私たちが御供養に励むことが大切ではないかと思えます。

大御祭典、祈願祭には玉串奉奠をさせて頂き、祭典、日々の参拝には玉串料をお包みいたします。玉串を神に捧げるとい事はとても重要な儀式であり、自分の玉(魂)、すなわち心(気持ち)を捧

一方、私たちが御守護されるのは大光明様ではないかと思えます。

また、幽世大神様に対しては祖霊様を御守護されておりますことから玉串料というよりも、その分、私たちが御供養に励むことが大切ではないかと思えます。

教団人事のお知らせ

令和七年二月二十四日をもって、境和之氏が教団顧問を退任されました。

【教団顧問退任の挨拶】

『教団顧問』など、恐れ多い肩書を背負い一人静かに苦笑する毎日でした。

対外的には肩書＝信用となり必要なものでしたが、もう必要無くなりました。これからは一信徒の立場で外部に向けての活動に専念します。二ヶ月前に顧問を退任する報告がある信徒さんにした際、「肩書で仕事をやるわけではない」と言っておりました。在任中は大変お世話になりました。

ある種、特殊な立ち位置にいた私を受け入れて下さり、心から感謝申し上げます。

ときに鼓舞するが余り辛辣な言霊を使いましたこと、お詫びします。

ありがとうございました。

令和七年三月二十八日 境 和之



生け花への『思い』

春季大祭・春のみたままつりの折、真つ先に目に飛び込んできたのは、両手を天に捧げるかの如く力強くも優しさに満ち溢れた、御神前に飾られたミモザとオンシジウムの鮮やかな黄色い生け花でした。東京教会の信徒さんによるものです。センスとバランスに長けたその方の生け花には毎回感心させられ、写真を撮りたてていますが、今回の作品はいままでのもとは明らかに違う『思い』が感じられたのは、私だけでは無いはず。祭典後、参拝された浜松・滋賀教会の信徒さんとお話しする機会があり、案の定その生け花の話題となりました。実はその数日前、信徒さんの愛犬が天に召されました。勿論ご本人にしか分かり得ぬ様な想いがお有りでしょう、その強い想いがカタチとなり、人々の心をふるわすものだと勝手に頷いてしまいました。芸術の真髄を身近に感じることが出来ることに感謝する日々です。



御神前に飾られた生け花

東京教会発 第二回こども食堂



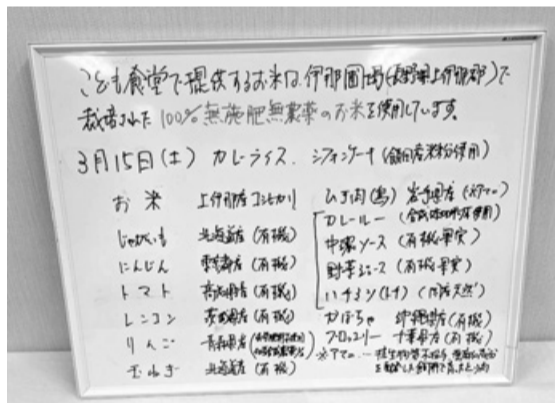
三月十五日(土)、前日まで参加申込みゼ口という、逆に清々する現実の元、重苦しい準備作業の中で飛び込んだ三件の参加申込みの知らせ。「またか」と、いつも間際の間に助けて下さる意地悪な神様に『ありがとうございます』と、そつとお辞儀をし、ほつと胸を撫で下ろしました。

前回同様四組十一名の親子(内一組は信徒さん関係親子)、信徒参加一組三名(内一名は光会員)、一般ボランティア二名、信徒ボランティア六名の参加となりました。告知も



こども食堂の様子 (プライバシー保護のため一部加工してあります。)

前回同様九十一箇所の世田谷区掲示板告知と五千枚のポスティング。嬉しかったことは前回も参加された親子が再び参加されたことです。前回お話ししましたが、『思いもよらぬ副産物』につきましては、参加された信徒さんより漏れ伝わる事と思います。ありがとうございました。三回のテスト開催を経て問題点の洗い出しと改善を行い、ホームページの開設と同時に社会福祉協議会の登録を受け本開催に臨むことはすでにお話ししていますが、まずは順調



会場には食材の産地などの紹介も行われた



会場に掲示された伊那圃場の紹介ポスター

天啓祭のご案内

明主様は昭和六年(一九三一年)五月半ば頃、六月十五日、房州(千葉県)鋸山の日本寺へ参詣せよ」という神の啓示を受け、前日の六月十四日、三十数名の信者とともに、両国から汽車に乗ってご移動されて鋸山の中腹にある乾坤山日本寺に泊られました。明朝、日の出に合わせて鋸山山頂に向かわれ、昇る朝日に向かって祝詞を奏上した時に、霊界の夜昼転換の啓示を受けられました。教団ではこの日に合わせて、本部、布教拠点一斉に天啓祭の大御祭典を執り行います。

- ◎ 祭典日 令和七年六月十五日(日)十時 開式
- ◎ 参拝所 東京本部、各布教拠点(本部より一斉中継)
- ◎ 当日は六月感謝祭を併せて執り行います。